

系	統	2液型エポキシ樹脂系打継ぎ用接着剤
特	長	1) 超速硬コンクリートの超速硬化性に応じた、早期接着強度発現性を有する。 2) 新旧コンクリートの打継ぎ接着性に優れる。 3) 湿潤面への接着性に優れる。
用	途	1) 超速硬コンクリートの打継ぎ、嵩上げ用 2) NEXCO 構造物施工管理要領 (平成22年4月) 「床板上面増厚工 接着剤の規格」適合品 3) NEXCO 構造物施工管理要領 (令和7年7月) 「鉄筋防錆材の性能照査項目」適合品 4) 国土交通省 国土技術政策総合研究所 研究報告第30号 (平成18年9月) 空港コンクリート舗装の薄層付着オーバーレイに関する研究 適合品
配	合 比	主 剤：硬化剤 = 3：1 (重量比)
荷	姿	10kgセット (主剤/7.50kg、硬化剤/2.50kg)
外	観 性 状	主 剤…白色粘稠液状 硬化剤…淡黄色液状 混合物…白色粘稠液状

可使時間・打設有効時間

タ イ プ	冬用 (W)			春秋用 (R)				夏用 (S)			
温 度 [°C]	5	10	15	10	15	20	25	20	25	30	35
可 使 時 間 [分]	20	14	10	25	16	12	8	35	18	12	9
打 設 有 効 時 間 [分]	90	60	40	90	75	60	40	90	75	60	40

※可使時間：接着剤混合開始から塗布作業ができなくなるまでの時間。

打設有効時間：接着剤混合開始からコンクリートの打設を終了しなくてはならない時間。

比 重	1.20 ± 0.10 (硬化物)
標準使用量	1.2 kg/m ² 0.80 kg/m ² (SBプライマー併用時)
貯蔵保証期間	12か月 (未使用、冷暗所保存)
消防法による区分	主 剤 危険物 第4類 第3石油類 (非水溶性) 硬化剤 危険物 第4類 第3石油類 (非水溶性)
毒物及び劇物取締法	主 剤 該当しない 硬化剤 該当しない
使用方法	1) セット単位または主剤、硬化剤を配合比にしたがって計量して使用する。 計量して使用する場合、主剤を均一になるまで混合してから計量すること。 2) 主剤、硬化剤を攪拌機で均一になるまで十分に混合攪拌する。 3) ローラー、刷毛、ゴムベラなどで打継ぎ面に塗布する。 4) 打設有効時間内に超速硬コンクリートを打設する。 5) コンクリートの養生を行う。
使用上の注意	1) 接着面の表面処理を十分に行う。(レイトランス、汚れ、脆弱部の除去) 2) 接着面に浮き水がある場合は、浮き水を除去する。 3) 主剤と硬化剤の混合攪拌時、空気を巻き込まないように、低速で攪拌を行う。 4) 可使時間内に塗布作業を終了する。 5) シンナーや水を混入して使用しない。 6) 可使時間が短いため、主剤、硬化剤を均一に混合したら、素早く塗布を行う。 7) 夏期施工時は、可使時間が短くなるため直射日光下に製品を置かないこと。 出来る限り使用直前まで現場事務所等の冷暗所に保管すること。 8) 打設有効時間内に、超速硬コンクリートの打設を終了する。

 注 意

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 健康上、注意を要する物質を含有しています。 2. 皮膚に付着すると“かぶれ”を起こすおそれがあります。 3. 取り扱い中は、保護眼鏡、保護手袋、保護マスク等を着用してください。 4. 詳細については安全データシート (SDS) を参照してください。 |
|--|